

災害から身を守るために

vol.13

「いざ」という時に…総集編」

シリーズでお知らせしてきた「災害から身を守るために」は、今回で最終回となります。

今回は総集編として、これまでお知らせした内容の要点などを、まとめてお知らせします。

■防災は事前の対策が大切です

政府の特別機関である「地震調査委員会」の研究により、当地方で近い将来強い地震が発生する確率が高いとの報告がなされています。

市では今後も、市民の皆さんとともに地震などの災害への対策を検討していきますが、被害を少なくするために、市民一人ひとりの事前の対策が非常に有効です。これまで市広報などでお知らせした内容を参考に、事前の対策をお願いします。

また、市では防災に関する市民講座なども受け付けていますので、活用してください。

1. 「自助」「共助」「公助」の3段階を忘れずに

- ①「自助」：自分や家族の安全確認・救助
- ②「共助」：ご近所、自主防災組織などによるお互いの協力
- ③「公助」：消防・警察・自衛隊・市役所などが行う救助

2. 地震や津波に備えて

<心構え>

- ①わが身と家族の安全を守る
- ②火災を防ぐ（ガスコンロなど火元の確認）
- ③外では頭を保護し、危険なものから身を避ける
- ④避難はできるだけ徒歩で、持ち物は最小限にする
- ⑤津波の注意

■こんな時は…
 ・大きな揺れ
 ・弱いがゆっくりとした長い揺れ
 ・津波警報・注意報

→火元を確認し、
付近の高台へ避難



<普段からの対策>

- ①非常持ち出し品の用意（通帳、印鑑、現金、着替え、薬、食料、紙おむつなど）
- ②わが家の安全点検
 - ・柱、土台、瓦、ブロック塀などの点検・補強
 - ・家具の固定や、置き場所の工夫
- ③避難場所、避難経路、家族と合流する方法の確認
- ④応急手当の方法を身につけておく（消防署や日本赤十字社主催の講習など）



3. 台風に備えて

- ①テレビ、ラジオなどの気象情報に注意する
- ②物干しや植木鉢などを片づけておく
- ③事前の対策→ 側溝や雨どいの掃除、窓や雨戸の補強 など



4. 土砂災害に備えて

- ①雨量が多いときは気象情報に注意する
- ②がけの亀裂、小石の落下などの前兆現象（前ぶれ）に注意する
- ③事前の対策→ がけの大木を切っておく、不安定な土砂を取り除く など



平成14年11月1日号からシリーズで13回にわたり、防災に関する情報をお知らせしてきました。市では今後も、市広報などで防災に関する様々な情報を提供していきます。

問合せ先 市危機管理室
 ☎(22)6600 内線221

訂正とお詫び

7月15日号の市広報「シリーズ防災」でお知らせした「税の減免」の記事で、国保税の対象と減免割合に誤りがありました。訂正してお詫びします。

正：住宅(家財)の価格の10分の3以上の損害(※ただし、国保加入世帯全員の前年の合計所得が1,000万円以下の場合)
 →所得割額の8分の1から全額を減額